

「三嶺防鹿柵設置活動」 (三嶺の森をまもるみんなの会・高知中部森林管理署主催)

日 時： 令和元年5月25日(土) 8:30~16:00

場 所： 高知県香美市三嶺(カヤハゲ西尾根、さおりヶ原)

内容

シカの食害によって大きなダメージを受けた三嶺の森は、シカ捕獲活動の効果が徐々に表れ、場所によっては植生の回復の兆しを感じられるようになりました。

しかし、多くの場所では裸地の状態、あるいはシカの嫌いな植物のみが繁茂するといった、もとの森とは全く異なった状態が続いています。

三嶺の森をまもるみんなの会と高知中部森林管理署では、三嶺周辺で森とササ原を鹿の食害から守るために防鹿柵を設置しています。また、食害のため裸地となった場所には、土砂流出防止マットを設置して植生を回復させる取組を行っています。

今回のボランティア活動は、カヤハゲ周辺、さおりヶ原周辺の希少植物を保護するために設置している防鹿柵の補修・拡張、樹木保護ネット(ラス巻き)の点検・補修作業を行いました。

さおりヶ原周辺は、登山口から約1時間と距離が短く、一般参加者を中心とした班編制で、ラス巻きの点検・補修作業を行いました。

〈当日の様子〉



技術指導を受ける参加者



ラス巻きの補修を行う参加者